

交推 第 3 号
令和 7 年 4 月 1 0 日

千葉県交通安全対策推進委員会委員 様

千葉県交通安全対策推進委員会事務局長
(千葉県環境生活部くらし安全推進課長)

小学生の歩行中における交通人身事故分析結果の周知について（依頼）

交通安全対策の推進につきましては、日頃から格別の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、千葉県警察本部から、別添（写）のとおり、小学生の歩行中における交通人身事故分析結果についての周知依頼がありました。

つきましては、当該資料の内容について関係職員やその御家族等に対して周知の上、交通事故の防止に努めていただきますようお願いいたします。

(事務局担当)

千葉県環境生活部くらし安全推進課

交通安全対策室 高戸

TEL 043-223-2258

E-mail ka-taisaku@mz.pref.chiba.lg.jp

写

交 総 発 第 1 8 8 号
令 和 7 年 4 月 8 日

千葉県環境生活部
くらし安全推進課長 殿

千葉県警察本部
交通部交通総務課長
(公印省略)

小学生の歩行中における交通人身事故分析結果の周知について（依頼）
貴職におかれましては、平素から交通安全活動をはじめ警察行政各般にわたり、格別の御理解と御協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。
さて、新入学児童が登下校を開始する時期となっておりますが、歩行中の小学生が関係する交通人身事故の発生状況について、分析結果を下記のとおり取りまとめました。
つきましては、この分析結果を千葉県交通安全対策推進委員に対し、県下の交通事故実態として周知を図っていただくとともに、交通安全対策を検討する上での資料として、積極的に活用していただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 小学生歩行中の交通人身事故の特徴
 - (1) 1年生から3年生は、歩行中の死傷者数が多く、学年が上がるにつれて減少傾向
 - (2) 学校生活に慣れてきた6月と日没が早くなる9月から12月にかけて交通事故が増加傾向
 - (3) 午前7時台、午後2時台から午後5時台に集中
 - (4) 目的別では、通学等が約半数（登校中：21.5%、下校中：29.1%、学業中：0.1%）
 - (5) 歩行者に何らかの原因があった事故の死傷者数は、飛び出しが72.0パーセントと多く、次いで、横断違反が13.6パーセントと多い。
- 2 事故防止のポイント
 - (1) ドライバー向け
 - こどもの飛び出しによる事故が多く発生しているため、学校付近、住宅街、通学路などでは、特に左右の安全確認を実施
 - 止まっている車や渋滞停止中の車の間からの急な飛び出しに注意
 - 横断歩道を横断しようとしている歩行者がいるときは、横断歩道の手前で必ず一時停止
 - (2) 保護者向け
 - 道路横断時は、左右の見通しの良し悪しにかかわらず、突然飛び出さないように「止まる・見る・待つ」を繰り返し指導
 - 道路横断中についても、車や周囲の様子に気を付けることを繰り返し指導
 - こどもは、興味のあるものや知っている人を見かけると、いきなり道路に飛び出すことがあるため、一緒に出かけるときは、手をつないだり、目を離さないようにするとともに、離れた場所にいるこどもには、保護者の方から近付くなど事故に遭いそうな状況を作らないように配慮
- 3 参考事項
本分析結果を取りまとめた別添「小学生の歩行中における交通人身事故の特徴について」については、県警ホームページにて公表予定であることを申し添えます。

【本件担当】

千葉県警察本部交通部交通総務課
043-201-0110(内線：5033)

小学生の歩行中における交通人身事故の特徴について

1 過去5年間(令和2年～令和6年)における小学生歩行中の交通人身事故の特徴

- 1年生から3年生は、歩行中の死傷者数が多く、学年が上がるにつれて減少傾向。
※4年生から6年生までは、歩行中よりも自転車乗用中の死傷者数が多い。
- 学校生活に慣れてきた6月と日没が早くなる9月から12月にかけて交通事故が増加傾向。
- 午前7時台、午後2時台～午後5時台に集中。
- 目的別では、通学等が約半数(登校中:21.5%、下校中:29.1%、学業中:0.1%)。
- 歩行者に何らかの原因があった事故の死傷者数は、飛び出しが72.0パーセントと多く、次いで、横断違反が13.6パーセントと多い。
※死者・重傷者の場合は、75.4パーセントが飛び出し。

注1:「死者」とは、交通事故発生から24時間以内に亡くなった者をいう。

2:「重傷者」とは、交通事故により負傷した者であって、1か月(30日)以上の治療を要する者をいう(医師の診断を基準としている。)

3:「死傷者」とは、「死者」、「重傷者」のほか、「軽傷者」(交通事故により負傷した者であって、1か月(30日)未満の治療を要する者)を含む者をいう。

4:「学業中」とは、学校等の校外授業、クラブ活動等の目的で通行することをいう。

5:「横断違反」とは、横断歩道外横断、走行車両の直前直後横断等をいう。

2 事故防止のポイント(ドライバー向け)

- こどもの飛び出しによる事故が多く発生しています。**学校付近、住宅街、通学路**などでは、特に左右の安全確認をしっかりと実施して運転してください。
- こどもは、興味のあるものに夢中となり、**突然路上に飛び出したり、無理に道路を横断しようとしたりする**ことがありますので、特に注意してください(**幼児・児童**だけで歩いている場合には、一時停止か徐行をして、安全に通れるようにしなければなりません。)
- **止まっている車や渋滞停止中の車の間からの急な飛び出しに注意してください。**止まっている車のそばを通るときは、速度を落として安全を確認してください(**横断歩道付近に車が止まっているときは一時停止**しなければなりません。また、**通園通学バスが止まっている側方を通過**するときは徐行して安全を確かめなければなりません。)
- 横断歩道を横断しようとしている歩行者がいるときは、**必ず横断歩道の手前で一時停止**して歩行者に道を譲ってください。
- 交差点を通過するときは、車の動きだけではなく、歩行者や自転車の動きもきちんと確認してください。

3 事故防止のポイント(保護者向け)

- **道路を横断するときは**、左右の見通しの良し悪しにかかわらず、突然飛び出さないように「**止まる・見る・待つ**」を繰り返し教えてください。
- **道路を横断するときは**、左右をよく見て安全を確かめてから横断を始め、**横断中も車や周囲の様子に気を付ける**ことを繰り返し教えてください。
- 横断歩道が近くにあるところでは、横断歩道で横断することを教えてください。
- 近くに横断歩道など安全に横断できる施設がないときは、道路がよく見渡せる場所で、車が近付いてこないことを確認してから横断することができますが、事故に遭わないために少し遠回りしてもできる限り横断歩道や歩道橋を渡るように教えてください。
- こどもは、興味のあるものや知っている人を見かけると、いきなり道路に飛び出すことがあるので、**一緒に出かけるときは、手をつないだり、目を離さない**ようにしてください。
- こどもが学校へ行くときは早めに送り出し、忘れ物をさせないように気を付けてください。時間ぎりぎりに家を出て先を急いだり、忘れ物をして慌てると安全確認が疎かになり、事故に遭う危険性があります。
- 離れた場所からこどもを呼ぶと、周りを確認しないで近付いてくることがありますので、保護者の方から近付くなど**事故に遭いそうな状況を作らないように配慮**してください。

どうろをあるくときの 3つのやくそく



① どうろをあるくときは **みぎのはし**を
あるく ほどの しやどうからとおいところを あるきます



② どうろをわたるときは…



③ しんごうは **あお** のときだけわたる
わたっているときも、みぎ・ひだり を よくみながら わたしましょう。



飛び出し防止の あいことば **「とまる・みる・まつ」**



思いやり交通千葉～こども版～

千葉県・千葉県交通安全対策推進委員会

問い合わせ先：千葉県 くらし安全推進課交通安全対策室 043-223-2263

R7.3作成

保護者の皆様へ

小学校入学の時期、交通事故に遭いやすい傾向にあります

こどもの歩行中死傷者数(2010年～2024年合計)



御家庭でも交通安全について
くり返しの指導をお願いします



ヘルメットはあなたの命を守ります!

自転車乗用中死者損傷部位(令和6年)



自転車乗用中の交通事故で
亡くなられた方の、17人中10人(58.8%)が
頭部に致命傷を負っています。
交通事故の被害を軽減するためにも、
ヘルメットの着用を忘れないで!

※千葉県警統計

正しく着用しましょう

✓ヘルメット着用のチェックリスト

- ☐ 前から後ろにかけて水平にかぶれているか
- ☐ 左右にあるVの字のストラップが耳たぶの下辺りにきているか。
- ☐ あごひもの長さは適切か(あごひもとあごの間に指が1～2本入る程度のおそびをもたせる。)

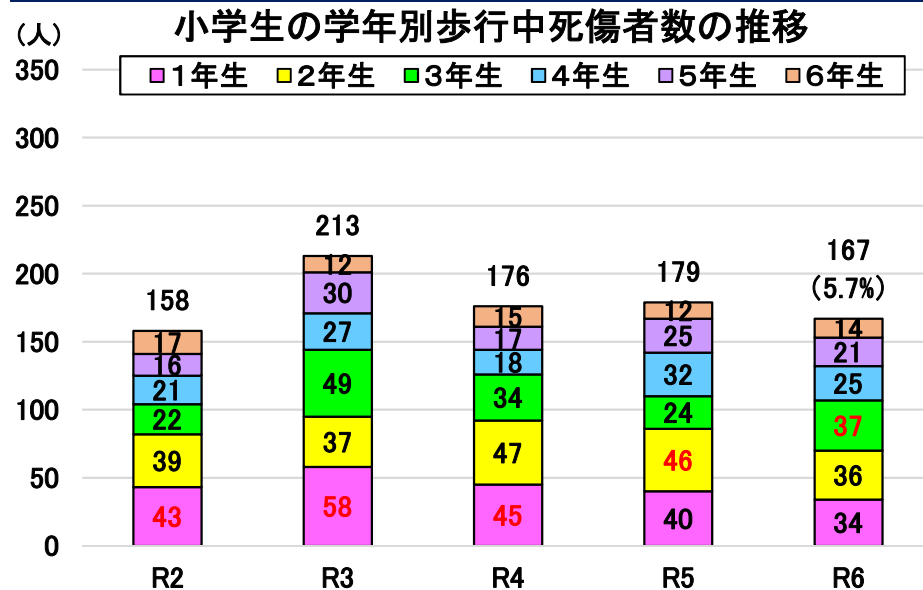


安全基準を満たした
ヘルメットを着用しましょう。

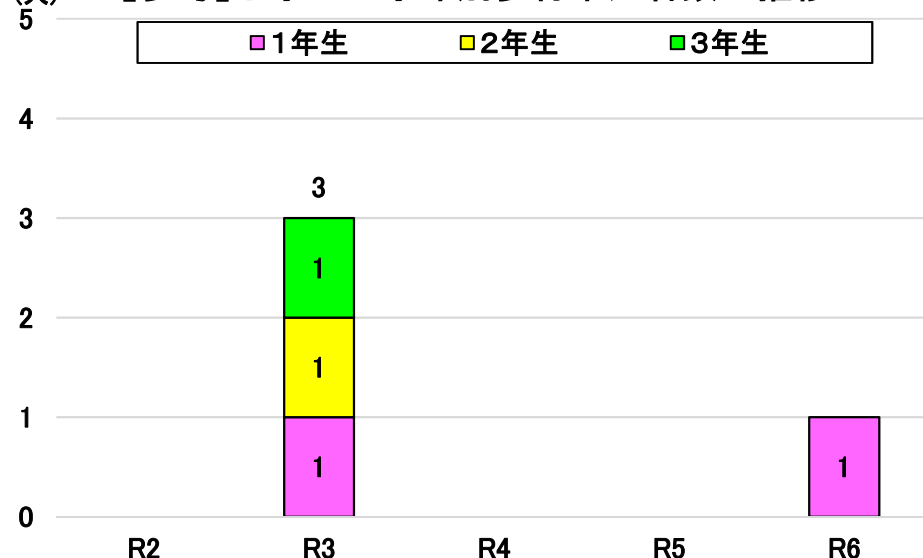
自転車に乗るときは、SGマークなどの安全性を
示すマークのついたものを使いましょう。

- ・SGマーク
- ・CEマーク(EN1078)
- ・JCF公認マーク
- ・CPSCマーク(1203)
- ・JCF推奨マーク
- ・GSマーク(ドイツ)等
- ・JISマーク(日本)

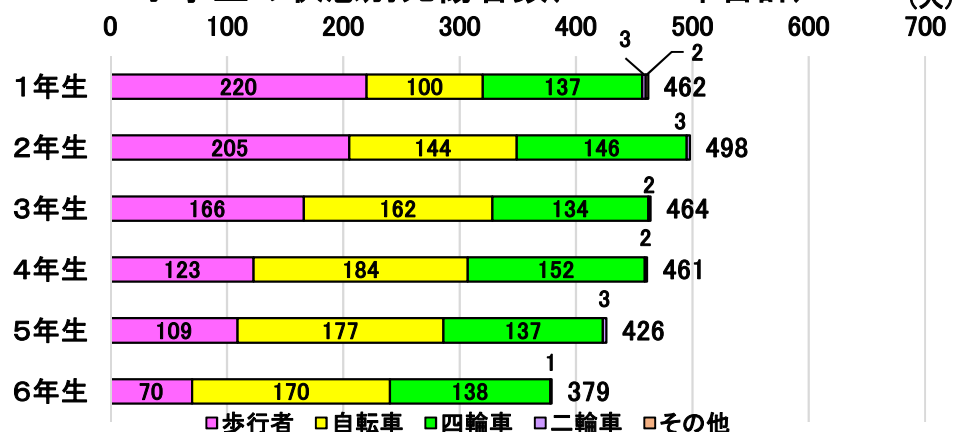
1 小学生の歩行中死傷者の推移と状態別死傷者数



【参考】小学生の学年別歩行中死者数の推移



小学生の状態別死傷者数(R2～R6年合計)

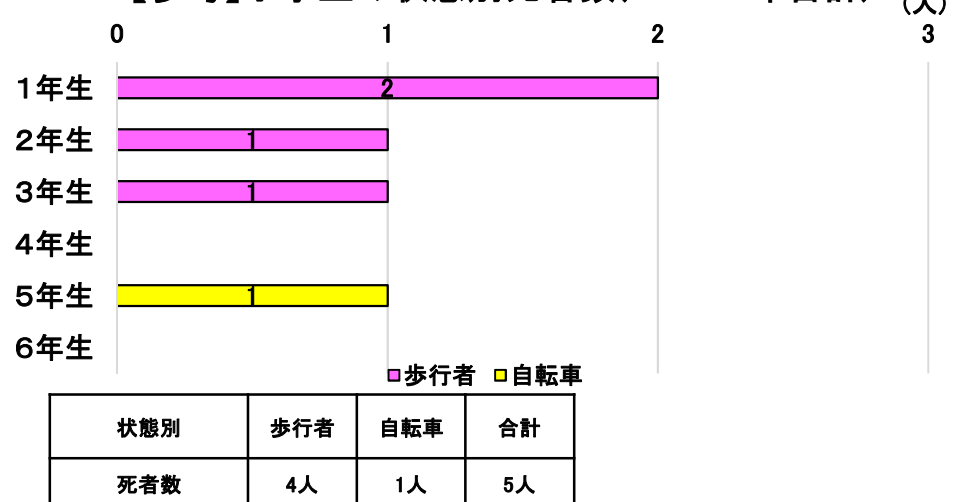


状態別	歩行者	自転車	四輪車	二輪車	その他	合計
死傷者数	893人	937人	844人	14人	2人	2,690人

注1:「その他」は、駐車中車両の同乗者などである。

注2:「四輪車」及び「二輪車」については、同乗中の死傷である。以下同じ。

【参考】小学生の状態別死者数(R2～R6年合計)

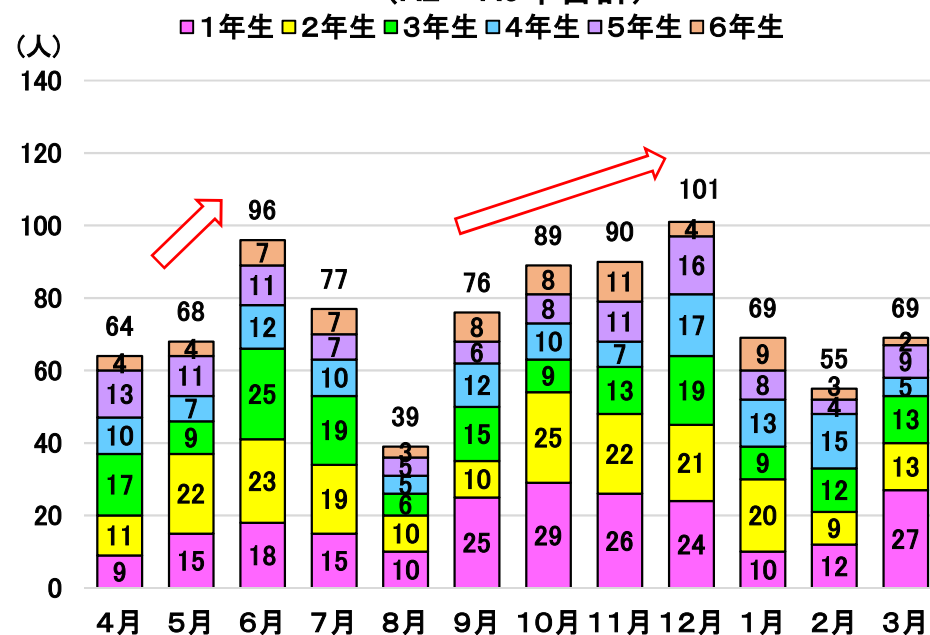


【過去5年間(R2～R6の特徴)

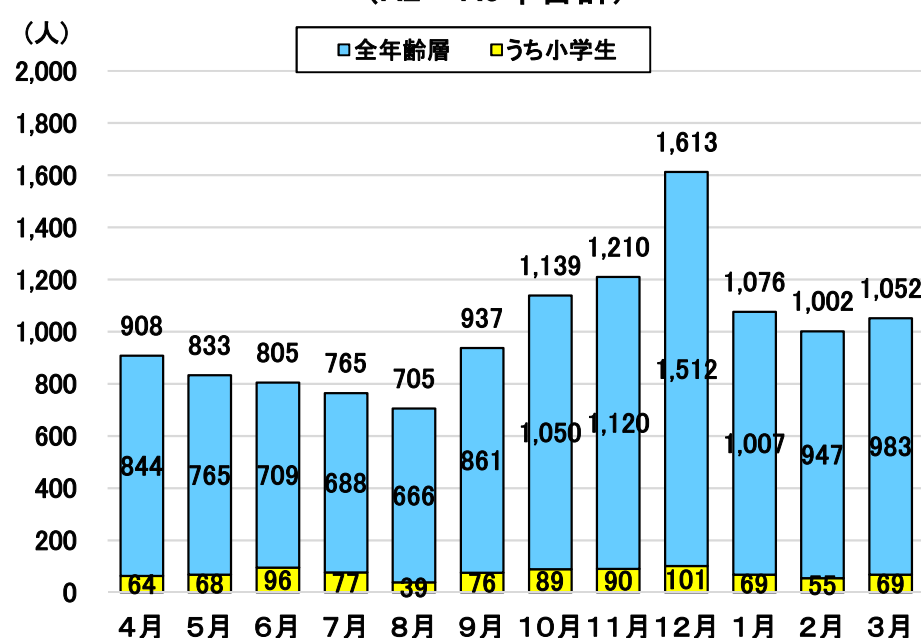
- 小学生の学年別歩行中死傷者数の推移では、令和6年(167人)は、令和2年(158人)と比べて5.7%増加しているほか、低学年に多い傾向がある。
- 小学生の状態別死傷者数の推移では、1年生から3年生は歩行中が多く、学年が上がるにつれて減少傾向になり、4年生から6年生までは、歩行中よりも自転車乗用中が多い。

2 小学生歩行中の月別死傷者数

小学生歩行中の月別死傷者数
(R2～R6年合計)



【参考】歩行中の月別死傷者数(全年齢層)
(R2～R6年合計)



			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
死傷者数	小学生	1年生	9	15	18	15	10	25	29	26	24	10	12	27	220
		2年生	11	22	23	19	10	10	25	22	21	20	9	13	205
		3年生	17	9	25	19	6	15	9	13	19	9	12	13	166
		4年生	10	7	12	10	5	12	10	7	17	13	15	5	123
		5年生	13	11	11	7	5	6	8	11	16	8	4	9	109
		6年生	4	4	7	7	3	8	8	11	4	9	3	2	70
	計		64	68	96	77	39	76	89	90	101	69	55	69	893
うち死者数	小学生	1年生				1		1							2
		2年生			1										1
		3年生			1										1
		4年生													0
		5年生													0
		6年生													0
	計		0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4

(参考) 全年齢層の歩行中月別死傷者数

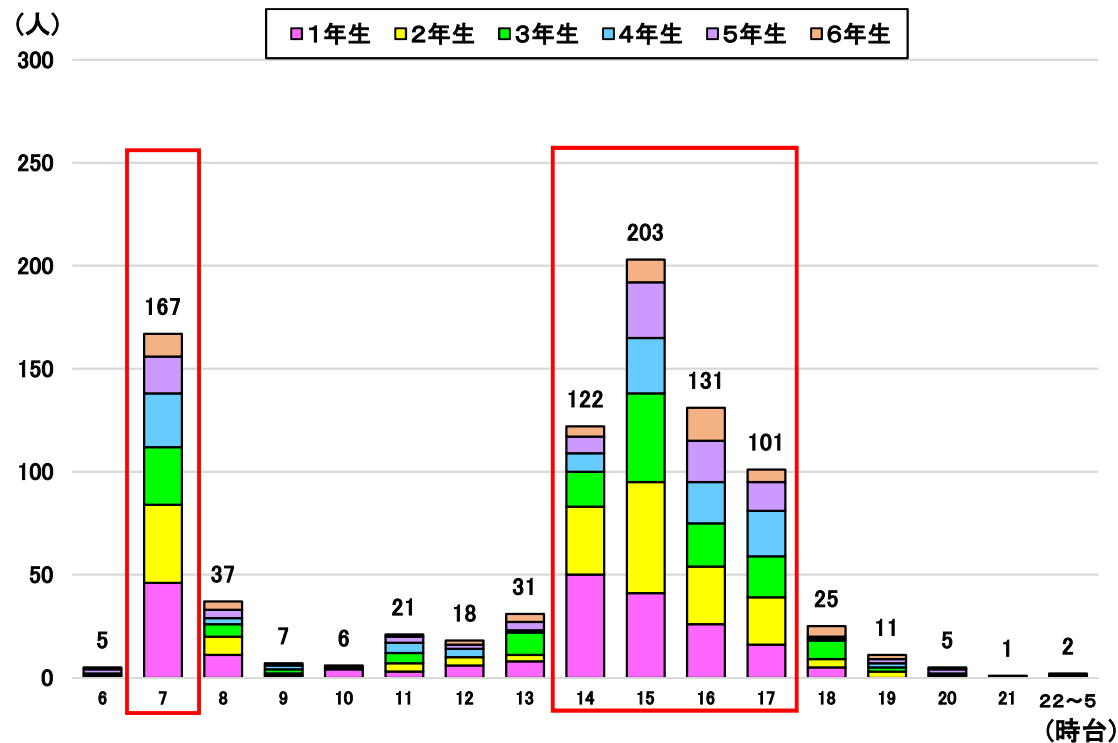
死傷者数	908	833	805	765	705	937	1,139	1,210	1,613	1,076	1,002	1,052	12,045
うち死者数	16	18	17	16	12	23	22	27	30	25	27	14	247

【過去5年間(R2～R6)の特徴】

- 小学生歩行中の月別死傷者数では、学校生活に慣れてきた6月と日没が早くなる9月から12月にかけて交通事故が増加傾向にある。

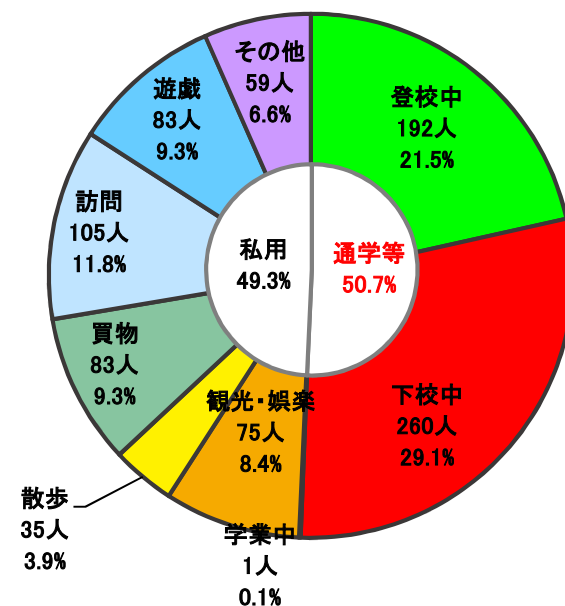
3 小学生歩行中の時間帯別・通行目的別死傷者数

小学生歩行中の時間帯別死傷者数 (R2～R6年合計)



		6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時～5時	合計
死傷者数	小学生	1	46	11	1	4	3	6	8	50	41	26	16	5		1		1	220
	1年生	1	46	11	1	4	3	6	8	50	41	26	16	5		1		1	220
	2年生		38	9	1	1	4	4	3	33	54	28	23	4	3				205
	3年生	1	28	6	2		5		11	17	43	21	20	9	2	1			166
	4年生		26	3	2		5	4	1	9	27	20	22	1	2		1		123
	5年生	2	18	4		1	3	2	4	8	27	20	14	1	2	2		1	109
	6年生	1	11	4	1		1	2	4	5	11	16	6	5	2	1			70
計		5	167	37	7	6	21	18	31	122	203	131	101	25	11	5	1	2	893
うち死者数	小学生									2									2
	1年生									2									2
	2年生										1								1
	3年生									1									1
	4年生																		0
	5年生																		0
	6年生																		0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4

小学生歩行中の通行目的別死傷者数 (R2～R6年合計)



		通学等				私用					調査不能	合計	
		登校中	下校中	学業中	観光・娯楽	散歩	買物	訪問	遊戯	その他			
死傷者数	小学生	1年生	54	65		17	10	20	24	19	11		22
		2年生	43	64		15	6	14	23	24	16		20
		3年生	33	50		15	8	16	20	17	7		16
		4年生	27	33		13	2	12	17	10	9		12
		5年生	20	32		10	5	14	12	6	10		10
		6年生	15	16	1	5	4	7	9	7	6		7
	計	192	260	1	75	35	83	105	83	59	0	89	
うち死者数	小学生	1年生		1		1							
		2年生		1									
		3年生		1									
		4年生											
		5年生											
		6年生											
	計	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	

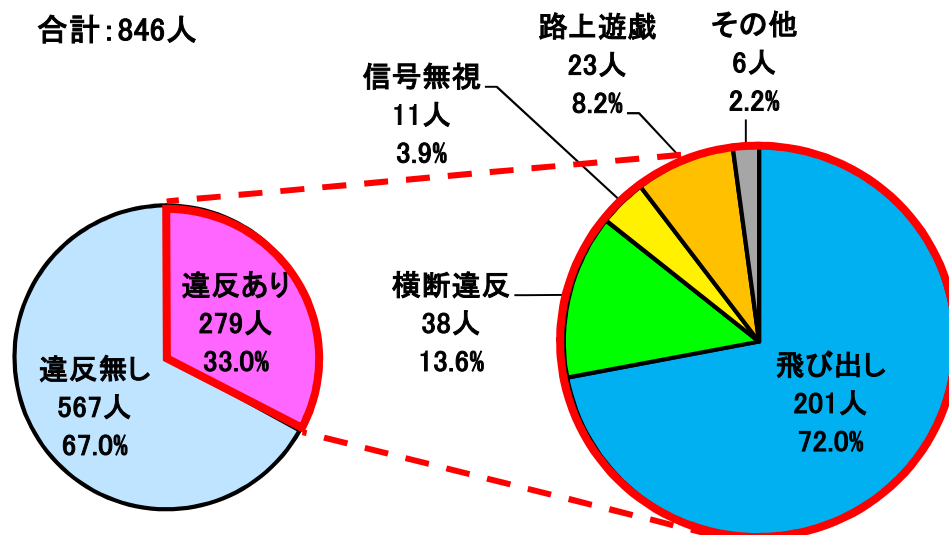
注1: 学業中とは、学校等の校外授業、クラブ活動等の目的で通行することをいう。
 2: 私用「その他」には、習い事等を含む。
 3: 円グラフの各項目の%は四捨五入しているため、各項目を足した合計と%が一致しない。

【過去5年(R2～R6)の特徴】

- 小学生歩行中の時間帯別死傷者数では、登校時間の7時台、下校時間・放課後の14時台から17時台までの間に81.1%(893人中724人)と大半を占めている。
- 小学生歩行中の通行目的別死傷者数では、通学等が約半数(登校中:21.5%、下校中:29.1%、学業中:0.1%)を占めている。

4 小学生歩行中の原因別死傷者数

小学生歩行中(第1・第2当事者)の
原因別死傷者数(R2～R6年合計)



		飛び出し	横断違反	信号無視	路上遊戯	その他	違反無し	合計
小学生	1年生	46	12	4	6	2	142	212
	2年生	51	9		6	2	124	192
	3年生	39	7	3	7		99	155
	4年生	27	5	2	1		86	121
	5年生	23	4	2	2	2	71	104
	6年生	15	1		1		45	62
計		201	38	11	23	6	567	846

(参考) 全年齢層(1当・2当)の歩行者に何らかの事故原因があった死傷者数

	全年齢	418	441	94	29	364	10,303	11,649
	うち高齢者	38	214	30		102	3,303	3,687

注1:「飛び出し」とは、安全を確認しないで路上に飛び出したものをいう。

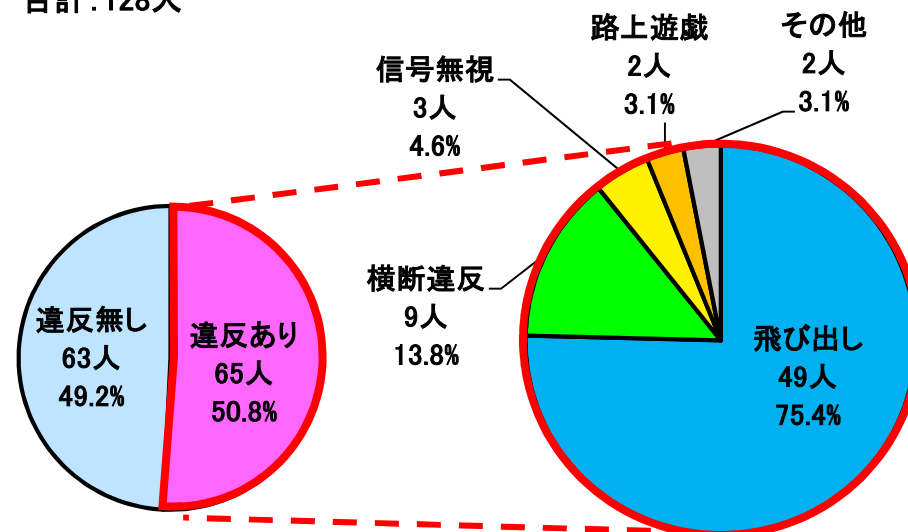
2:「横断違反」とは、横断歩道外横断、走行車両の直前直後横断等をいう。

【過去5年(R2～R6)の特徴】

- ・小学生歩行中(第1・第2当事者)の原因別死傷者数では、死傷者に何らかの原因があったのは33.0%(846人中279人)で、このうち飛び出しが72.0%(201人)と最も多い。特に死者及び重傷者で見ると、何らかの原因があったのは50.8%(128人中65人)と約半数であり、このうち飛び出しが75.4%(49人)で、さらに割合が高い。
- ・全年齢層で見ると、飛び出しの原因があった死傷者のうち48.1%(418人中201人)を小学生が占めており、特に低学年に多い。

小学生歩行中(第1・第2当事者)の
原因別死者・重傷者数(R2～R6年合計)

合計:128人



		飛び出し	横断違反	信号無視	路上遊戯	その他	違反無し	合計
小学生	1年生	13	1		1	1	16	32
	2年生	11	4				16	31
	3年生	6	1	2			11	20
	4年生	9	2	1			9	21
	5年生	7	1		1	1	10	20
	6年生	3					1	4
計		49	9	3	2	2	63	128

(参考) 全年齢層(1当・2当)の歩行者に何らかの事故原因があった死傷者数

	全年齢	121	208	55	5	129	1,924	2,442
	うち高齢者	20	131	19		53	1,106	1,329